



大洲校だより

柏崎市立大洲小学校 令和7年12月3日号



大先輩の生き方から学ぶこと

校長 古川 康成

去る11月11日・12日の二日間、5・6年生17名が東京方面への修学旅行に行ってきました。子どもたちは国会議事堂や浅草寺、スカイツリー、国立科学博物館などを見学し、日本の歴史や未来、そして都心の活気を肌で感じ、深い学びを得ることができました。

その見学先の中で、全国で本校だけが訪れた特別な場所がありました。それが、港区芝浦に本社を構える五十嵐冷蔵です。今年で創業103年目を迎えるこの会社は、本校の大先輩である五十嵐與助翁(1878-1957)が興した会社です。

5・6年生は、先日の「あげほ祭り」で発表した劇「大洲の歴史発見！未来へつなぐ歴史の語り部」を五十嵐隆晴代表取締役社長はじめ、多くの社員の皆様の前で堂々と披露し、大きな拍手をいただきました。劇に登場した創業者の與助さんと2代目社長の清隆さん役の子供たちと現在の社長と一緒に記念写真を撮るなど、本校の歴史と今が繋がる大変思い出深い時間となりました。

この五十嵐與助翁の生涯は大洲の子供たちにもぜひ伝えたい大切なメッセージを含んでいます。與助翁は、小学校に入学してわずか2年目に家業の失敗により学校を辞め、漁師のもとに奉公に出されるという苦難を経験しました。勉強が好きだった與助翁が学問の道を断念せざるを得なかつた悔しさは相当なものだったでしょう。與助翁はその後、学校に戻ることなく、桶屋、米問屋、人力車の車夫を経て青物商として独立。様々な苦難と経験を経て、1922年(大正11年)に五十嵐冷蔵の前身である「日米水産株式会社」を創立し、やがて日本の近代化を支える偉人となっていきました。與助翁の勉学に対する思いは強く、1953年(昭和28年)には母校である大久保尋常小学校(現・大洲小学校)へ図書館を寄贈し、今も「五十嵐記念館」として多くの児童に利用されています。これは、自分が断念せざるを得なかつた「学びへの思い」を、後世の子どもたちに託したものに違いありません。この偉業の根底には、幼少期から強いられた「我慢」の経験があったと考えられます。やりたいこと、すなわち「学び」を我慢して働きに出た経験が後の人生で物事を成し遂げるための強い精神的な土台を築いたと言えます。

子供たちに考えてほしいことは、この與助翁のエピソードを通して見えてくる、「自制心(セルフコントロール)」の大切さです。「我慢」という言葉は、「辛いことをただ耐え忍ぶ」という受動的なイメージがあるかもしれません。しかし、ここで言う「我慢」とは、「自分の将来の幸せや、より大きな目標のために、今、目の前の衝動的な行動や欲求をコントロールする力」、すなわち「自制心」と言えます。

與助翁が経験したのは、学校を辞めるという「強制された自制」でした。しかし、彼はその苦しい経験を経て自立し、事業を興し、そして母校に寄贈するという、「将来の目標のための自発的な努力」へと昇華させました。ここに、逆境を成長の糧とする人間の強さ、そして自制心の重要性を感じます。

近年の研究でも、幼少期に自制心が高かった子供たちは、学業成績や将来の社会的成功、さらには健康や幸福度においても、高い傾向があることが明らかになっており、自制心は豊かな人生を切り拓くための「見えない力」と言えます。

さて、現在の五十嵐記念館は海の柏崎にちなみ灯台の形をしています。この記念館が完成した際、3代目の社長である五十嵐康之さんは祝辞として、「みなさんになんか本を読んでもらい立派な人になって光を出してもらいたいと思います」と述べられました。五十嵐與助翁がその生涯を通じて示された「学びへの強い思い」と、「自制心」によって逆境を乗り越える生き方は、まさに子供たちの未来を明るく照らす灯台と言えます。私たち大人はこの偉大な先輩の生き方を一つの指針とし、家庭や地域と手を携えながら、子供たち一人ひとりが将来、自分らしく輝ける人となるよう、全力で応援していきましょう。



地域学校協働活動推進事業

地域学校協働活動推進事業とは、地域住民、保護者、団体・機関等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を推進する市の事業です。次の時代を担う子どもたちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。

今年度も地域の方々、保護者の皆様からご協力をいただき、充実した活動が進められております。

毎年一人一つ自分のプランターに好きな絵を描き、そこにチューリップを植えて学校を明るくしようと、花いっぱい運動に全校で取り組んでいます。地域コーディネーターの伊藤学様をはじめ、多くのボランティアの皆様からご協力をいただき、継続している活動です。来年の春も、色とりどりのチューリップが咲き、学校や地域が華やかになることをみんなで楽しみに待っています。伊藤様をはじめとする地域のボランティアの皆様、いつも本当にありがとうございます。



年末年始期間における学校無人化について

大洲小学校及び柏崎市内小中学校で、年末年始の学校閉庁日の期間中、学校無人化となります。この9日間は日直勤務等の職員を置きませんのでご承知おきください。なお、冬季休業中の学校留守番電話対応時間における児童に関する緊急連絡先については下記をご確認ください。

○期間　学校閉庁日12月27日(土)～1月4日(日)、冬季休業中の平日の夜間含みます。

○連絡先　市役所代表電話 0257-23-5111

○内容　児童生徒の事故等、緊急を要する連絡や相談に限ります。

12月の主な予定

- 1日(月) 児童アンケート、保護者アンケート(～12/5)
総合学力調査国語
2日(火) 総合学力調査算数 全校朝会
ありすさん公演5限
3日(水) 総合学力調査理科(5・6年のみ)
6年生深めよう絆スクール集会 三中
4日(木) 総合学力調査社会(5・6年のみ)
3年生社会科校外学習 柏崎消防本部
5日(金) 3年生社会科校外学習 柏崎警察署
諸費引き落とし日 地区児童会
PTA 文化教養部主催全校親子活動 5限

- 8日(月) 縦割り班遊び1班
9日(火) 縦割り班遊び2班
10日(水) 縦割り班遊び3班 1年生昔遊び3限
11日(木) 縦割り班遊び4班
第54回柏崎市刈羽郡小中学生
美術展(～12/18)
12日(金) 縦割り班遊び5班
16日(火) 移動図書館
18日(木) 3～6年生スケート教室
23日(火) 冬休みを迎える集会
24日(水) 冬休み(～1/7)